

令和 6 年度

第 3 回 ラポール菅生
運営推進会議

令和 6 年 9 月 30 日（月）
株式会社ヒューマンケアー
ラポール菅生

ラポール菅生 運営理念
～あなたらしく過ごせる家～

- ① 清潔で居心地の良い空間
- ② 明るい笑顔と親切な心
- ③ その人らしく自由に

1. 運営状況報告

(令和6年9月29日現在)

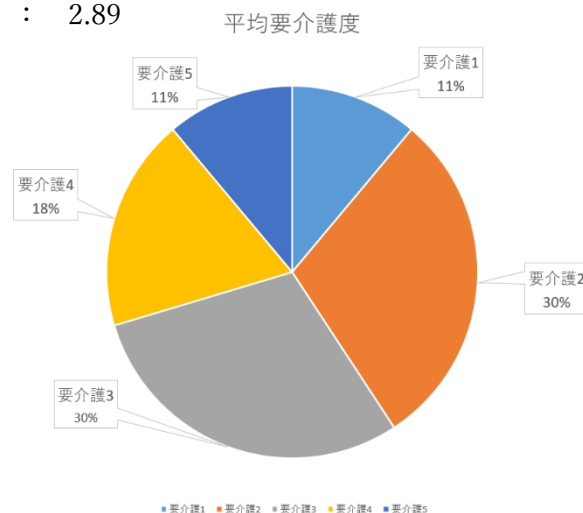
●入居者数 (定員 27 名)

1 階 ユニット	9 名
2 階 ユニット	9 名
3 階 ユニット	9 名
合 計	27 名

●男女比

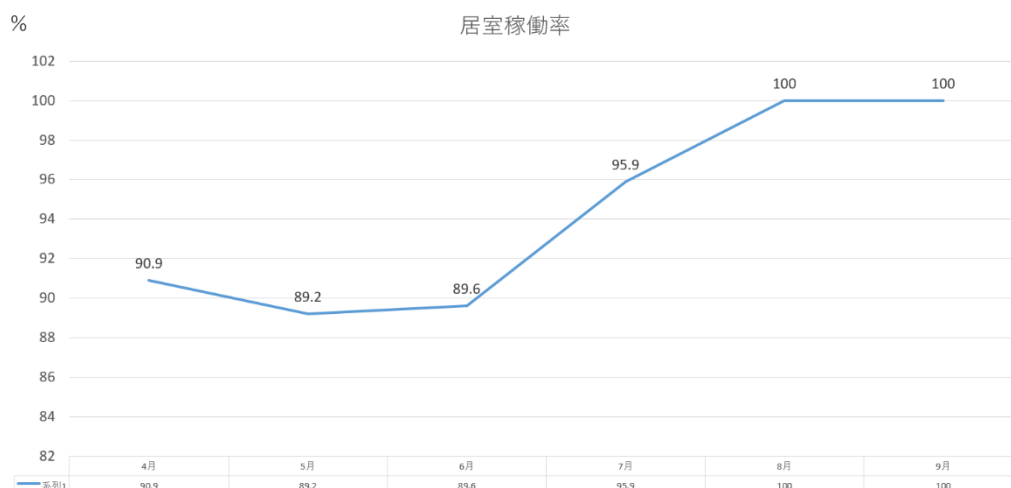
男性	3 名
女性	24 名

●平均要介護度 : 2.89



● 平均年齢 : 88.9 歳

● 居室稼働率 : 100%



(1) 7 月より満床（27 床）を継続しています。

令和 6 年度	入居者（新規）	退去者
8 月・9 月	0 名	0 名

●職員配置 25 名・・・施設長含まず。

ユニット	正社員	パート	嘱託
1 階	2 名	5 名	1 名
2 階	0 名	7 名	
3 階	0 名	10 名	
合 計	2 名	22 名	1 名

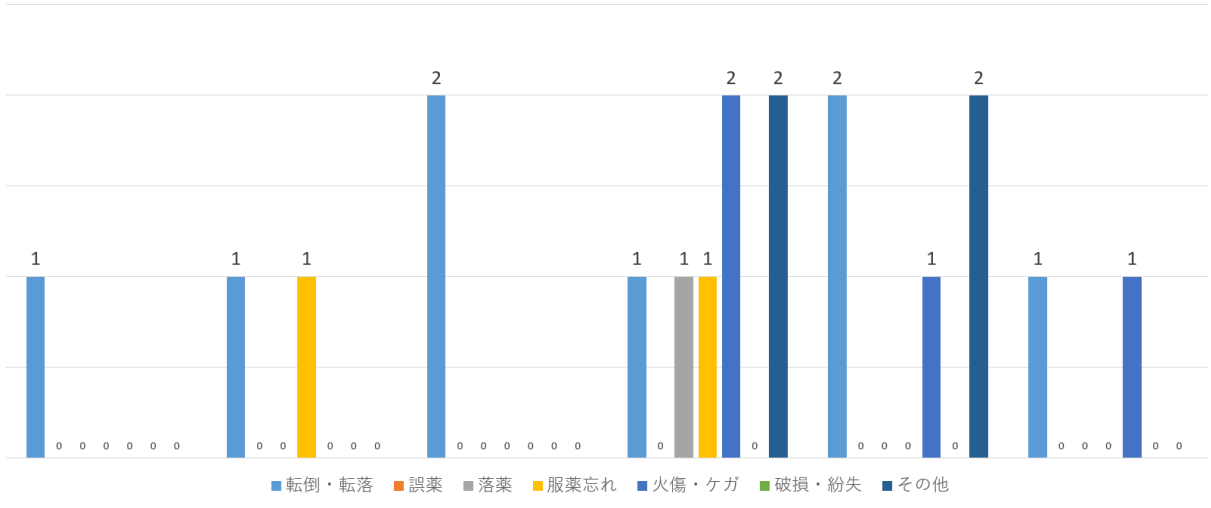
●入退職者

令和 6 年度	入職者	退職者
8 月・9 月	0 名	1 名

- (1) 9 月にユニット 3 のパート職員（夜勤専従）1 名が退職いたします。
(2) 10 月よりユニット 3 に派遣職員（外国人）の雇い入れを予定しています。

2. 事故報告

月別事故件数



(1) トピック

ここ2カ月で受診を必要とする転倒転落事故が2件発生し、内1件は骨折という結果でした。どちらも深夜帯にベッドから入居者ご自身で動き出されての事故となります。どちらの対象者も日々の歩行レベルは施設内独歩（お一人で安全に歩いて回れる）の方でした。お二人とも入院をすることなく、施設で日常生活を継続できる状態であったことが幸いでした。

(2) 再発防止に向けての対策

まずは職員の心構えについて、普段自立した生活を送られている方でもどんな行動をとるのか分からない時がある。事故はいつでも起こりうるということを再認識しました。入居者の、様子観察をおこない、いつもと違い足の運びが悪い時には、職員間で情報共有して入居者のケアの優先順位を変えること、生活支援は、遠位見守りから付き添いにケアの内容を変えること、夜間に不安な気持ちを引きずらない様に、日中にお話を聞く時間をもち精神的に落ち着いていただくこと。ハード面では、眠りスキャンセンサーの探知を、起き出しから覚醒に変える事。カンファレンスをおこない対策をたて実施しています。

3. 行事報告

(1) 令和6年度 実績

月	行事名	内容・目的
8月	夏祭り お祭り行事食	おまつり屋台食、縁日ゲーム、浴衣で記念写真。 入居者同士、職員との交流を深める、イベントでストレス軽減、楽しい思い出を作り心の健康を増進。
菅生神社で行われる地域の夏祭りに参加させていただく予定でしたが、社会的に新型コロナウイルスやその他感染症の流行がみられたため、残念ながら今年の参加は見送らせていただきました。受け入れ準備をして下さっていた自治会の皆様には大変申し訳ないことをいたしました。入居者様には急遽、施設内での催しに切り替えて夏祭りを楽しんでいただきました。色とりどりの浴衣に身を包み、皆様の笑顔を写真に収めることができました。		   

月	行事名	内容・目的
9 月	敬老会	長年、お仕事や子育て等にご尽力されたご功労、ラポール菅生での出会いに感謝し、地域社会に貢献されてきた高齢者の方々の労をねぎらい長寿をお祝いする。
今年で4回目のラポール菅生の敬老会になりました。1回目から変わることなく参加されている方も居れば、初めての方も。少しずつ入居者様の顔ぶれも変わってきています。今年は音楽ボランティアの方々にウクレレ演奏をしていただき、一緒に楽器を鳴らしたり、歌ったりと参加型の催し物を提供いたしました。ご家族様にも参加いただき、ラポールでの出会いに感謝、労をねぎらい、これからもお元気で過ごしていただけるように皆で祝い事を楽しみました。		   

4. その他

1) 訪問診療 担当医（内科）の変更

診療日： 毎月第2・第4木曜日

担当医： 鈴木黎医師 → 渡邊みどり医師

9月より、当法人が所属する新富士病院グループのたま日吉台病院 渡邊みどり医師が新しく訪問診療担当医となりました。渡邊医師は訪問診療をおこなう在宅支援室の代表医師で、殆どのご家族様はラポール菅生入居の際に一度ご面談をおこなわれていることと存じます。診療内容や日数などには変更は生じておりません。今までと変わらず連携を取って、ご入居者様のケアをおこなってまいります。入居者様の医療について何かご質問があれば、施設だけでなく、たま日吉台病院在宅支援室に直接お電話下されば、医療チームから直接お話を聞くことができますのでご承知おきください。

2) 避難訓練

9月に夜間帯想定での避難訓練を実施いたしました。

本訓練は夜間帯3人の職員で停電・火災発生の際、いかに被災フロアを優先的に避難することができるのか、入居者が実際に階段を降下して防火扉内の階段室内に避難出来るのか

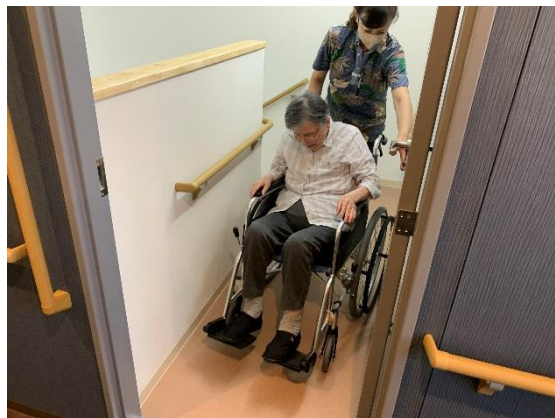
を重点的に訓練しました。避難訓練では車いすの方が階段室に入りきらない、道を塞いでしまうことがあり、独歩グループを優先して避難させる必要性について再認識できたこと、入居者が実際に階段を下りられるのか再確認できたことは職員にとって良い学びでした。

通報訓練では自動火災報知設備及び通報装置の操作方法について、緊張から操作方法に手間取りがありました。アドバイスを受けながら入職時の指導内容を思い出して実践できていました。一度体験したことは忘れていても少しのキッカケで記憶が呼び起こされるもの、訓練を積んでいくことの重要性を再認識できました。被災の状況、利用者の状態次第でその場の判断が迫られるため、今後も様々なケースでの訓練を繰り返しおこなってまいります。

○階段降下訓練 1



○階段降下訓練 2



3) 広報 ラポール便り

段階的に取り組み始めた広報活動ですが、9月よりユニット2・3のご家族様にも広報誌のお届けを始めています。お楽しみいただければ幸いです。

5. 次回運営推進会議予定

令和6年度 第四回を11月後半開催の予定で調整させていただきたく思います。

会議は欠席者多数の場合や、感染症の流行状況、社会情勢によっては変更となる場合がございます。その際にはあらためてご連絡致します。

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	ラポール菅生		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	神奈川県川崎市宮前区菅生6-33-17		
担当者	岩崎林太郎	連絡先	044-872-8488
運営法人	株式会社ヒューマンケアー		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年9月30日10時30分～11時30分	場所	ラポール菅生 地域交流スペース
----	------------------------	----	-----------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
佐野健二	事業所職員	介護事業部課長
岩崎林太郎	事業所職員	施設長
臼井克典 様	利用者又は利用者の家族	利用者家族
浜かおり 様	利用者又は利用者の家族	利用者家族

4. 活動状況報告

別紙(会議レジュメ)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

浜様

1. 行事報告について

9月の敬老会行事に参加したが職員の盛り上げ方が上手で、皆さん楽しくされていて、明るい表情が見れてよかった。

2. 介護士不足について

介護士さんの世界は一般職と違い9時～17時の世界ではない。突発的な仕事も多く自由の効かないことが多いと思う。私自身やってみようかと思っても、時間の制約が多くできそうもない。

特に今の若い方々は自分の個の時間を一番の優先順位に持っている方が多いのではないかな。

賃金よりも時間。そういったことでいうと中々集まらないのではないかな。

だからどうしたらいいと言う良い案はないのですが。

臼井様

1. 避難訓練について

私の勤め先のマンションでも避難訓練があり、車椅子の方の階段避難のためにイーバックという商品をマンションでも用意している。是非とも参考にしてください。

2. 介護士不足について

先日、東京MXTVで介護業界について特集していた。その内容を今日この場で共有したいと思っていた。

九州方面のある企業では口コミで職員が集まってくるという。職員の業務負担を減らすためにICTの整備を進めたという。介護の記録を音声認識ソフトでおこなうことができるらしい。これからはそういった時代。

ラポールでも眠りスキャンセンサーというものが入っている。もっと広報していけるといいですね。

あとは、私の経験上でアドバイスできるのは、職員を労う事。特別なイベントをおこなうのではなく、

日常的に上司から労われることで職員は気持ちが軽くなる。

佐野

職員の定着が課題となっている。今後、特定技能実習生の受入れを検討している。

多種多様な職員が働くことの受入れを承知して頂きたい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

1. 介護士不足について

今回臼井様より共有いただいた介護業界のICT化についての動画、視聴いたしました。

記録管理ソフト×音声認識AIの導入で介護士の事務負担を減らし、直接的ケアに専念することができるため、介護士の満足度が満たされ、離職率低下、それが口コミで広まり自然と職員が集まるサイクルができる。

非常に参考になるケースでした。ラポール 菅生も眠りスキャン×eyeで健康観察と見守り支援、

介護記録ソフトで記録作業時間の軽減、wellsキャリー入浴支援機器で重度要介護者の入浴支援をおこなう等、

ICT化を進めておりますが、一人一人の職員がその機能を100%使いこなすことには至っていません。

導入したらそれでよしではなく、またそこに教育という新たな課題があるのが現状です。

介護士の業務で介護記録は必須であり一日おこなった全てをそこに残さなければなりません。

小林様のご意見の通り、突発的な出来事も多くスケジュール通りに物事が進まないことも多々あります。

そういった中でいかに介護士一人にかかる負担を軽減していくのか、ICT化、AI技術の導入は必須であると

考えます。ただそこにかかるコストも莫大ですので、そこが回収できるものかどうか見定めながら、

一層のICT化対策を講じて参りたいと思います。

会議終盤に介護事業部課長からもお伝え致しましたが、今後は外国人介護士の採用も検討しています。

介護業界に限らずですが、どこの社会にも既に多種多様な人種やセクシャリティを持った労働者がいます。

ご不安に思われてしまうご家族様もいらっしゃるかもしれませんが、人物評価、日本語コミュニケーション能力や

介護技術が一定基準を超えているかをしっかりと見定めてからの就労となりますので、

ご承知おきください。

2. 避難訓練について

臼井様よりご教示いただきました商品について確認いたしました。

災害・非常用階段避難車 エーバック＋チェア こちらの使用方法も動画で確認致しました。

購入については協議、検討してまいります。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

蔵敷自治会長 森川様 やむを得ないご事情のためご欠席
地域包括支援センター様 時間の都合つかないためご欠席

次回 運営推進会議予定
・令和6年11月29日(金)10:30予定